

シンクカーR  
WWWのthinkcar.com

# シンクカー

バージョン: V1.00.001

声明: **THINKCAR**は、この製品で使用されるソフトウェアの完全な知的財産権を所有しています。ソフトウェアに対するリバースエンジニアリングまたはクラッキングアクションの場合、**THINKCAR**はこの製品の使用をブロックし、法的責任を追求する権利を留保します。

## 安全上のご注意

人身傷害や車両や診断機器の損傷を防ぐために、車両で作業するときは、最初にこのユーザーズマニュアルを注意深く読み、少なくとも次の安全上の注意を守ってください。

- ユーザーが修理できる部品はありません。資格のある修理担当者に、同一の交換部品のみを使用してデバイスの修理を依頼してください。これにより、デバイスの安全性が維持されます。デバイスを分解すると無効になります
- 注意:このツールには、リチウムポリマー電池が内蔵されています。バッテリーが破裂または爆発し、有害な化学物質が放出される可能性があります。火災や火傷の危険を減らすために、バッテリーを分解したり、押しつぶしたり、穴を開けたり、火や水に投げたりしないでください。
- この製品はおもちゃではありません。子供がこのアイテムで遊んだり、近くで遊んだりしないでください。
- デバイスを雨や濡れた状態にさらさないでください。
- 不安定な表面にデバイスを置かないでください。
- 充電プロセス中は、デバイスを放置しないでください。充電中は、デバイスを不燃性の表面に置く必要があります。
- デバイスの取り扱いには注意してください。デバイスを落とした場合は、破損や動作に影響を与えるその他の条件がないか確認してください。
- 可燃性の液体、ガス、重いほころいの存在下など、爆発性雰囲気中でツールを操作しないでください。
- ツールを乾いた状態に保ち、清潔に保ち、油、水、グリースが付着しないようにしてください。必要に応じて、清潔な布に中性洗剤を使用して、デバイスの外側を清掃します。
- ペースメーカーを使用している人は、使用前に医師に相談する必要があります。心臓ペースメーカーに近接した電磁場は、ペースメーカーの干渉またはペースメーカーの故障を引き起こす可能性があります。
- 自動車試験は、常に安全な環境で実施してください。
- 車両の運転中は、ツールを操作したり観察したりしないでください。動作中またはツールを観察すると、ドライバーの注意散漫が発生し、致命的な事故を引き起こす可能性があります。
- ANSI規格を満たす安全目の保護具を着用してください。
- 衣服、髪の毛、手、工具、試験装置などを、動くものや熱いものから遠ざけてください
- エンジン部品。
- 換気の良い作業エリアで車両を操作してください:排気ガスは有毒です。
- 駆動輪の前にブロックを置き、テストの実行中は車両を放置しないでください。
- イグニッションコイル、ディストリビューターキャップ、イグニッションワイヤー、スパークプラグの周りで作業するときは、細心の注意を払ってください。これらのコンポーネントは、次の場合に危険な電圧を生成します。  
    エンジンが作動しています。
- トランスミッションをP(A/T用)またはN(M/T用)に入れ、パーキングブレーキが従事。

- ガソリン/化学/電気火災に適した消火器を近くに置いてください。
- イグニッションがオンになっている間、またはエンジンが作動している間は、テスト機器を接続または切断しないでください。

# FCCの声明

## FCCの要件

コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

- (1)このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があります、
- (2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

注意: この機器はテスト済みであり、FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備での有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。これ機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、干渉が発生しないという保証はありません。

特定のinstallaton。この装置が無線に有害な干渉を引き起こす場合、またはテレビの受信は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できますが、ユーザーは、次の1つ以上によって干渉を修正しようとするのが奨励されます

措置：

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えます。
- 機器と受信機との距離を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

この装置は、非注意のために定められたFCC放射線被曝制限に準拠しています。

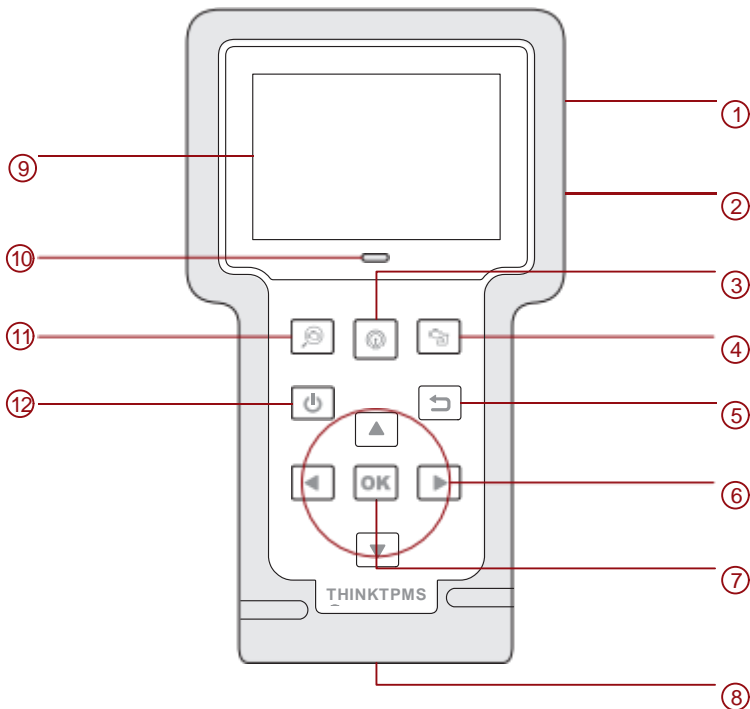
荒らされた環境。この装置は、ラジエーターと身体との間に20cm以上の距離を置いて設置および操作する必要があります。この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に配置するか、一緒に動作します。

# カタログ

- 1 製品導入
- 2 製品パラメータ
- 3 最初の使用
- 4 機能メニュー
- 5 TPMS操作
- 6 センサーをアクティブにする
- 7 プログラムセンサー
- 8 センサーの再学習
- 9 保証条件



## 製品導入

THINKCAR T-Wand 100は、TPMSセンサーの起動、読み取り、再学習、プログラミングが可能なプロフェッショナルなTPMS(タイヤ空気圧監視システム)サービスツールです。低または高無線周波数を介して信号を受信し、OBDポートを介してTPMSモジュールをリセットすることにより、圧力情報をアクティブにすることができます。



いいえ。	名前	機能
1	充電/ データI/Oポート	アップグレードのために、充電/データケーブルを介してツールをコンピューターに接続します。
2	メモリーカード スロット	メモリーカードを挿入して、メモリーカードに保存されているデータ/ファイルを読み書きします。
3	@ ボタン	を押して車両センサーをアクティブにします。
4	🔧 ボタン	OBD障害コードをすばやくクリアするために使用されます。
5	↶ ボタン	前のメニューに戻ります。

THINKTPMS

いいえ。	名前	機能
6	▲ ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>•メニューモードで、メニューとサブメニューを行ごとに上にスクロールします。</li> <li>•DATA VIEWモードで、画面データを前のページまでスクロールします。</li> </ul>
	▶ ボタン	MENU / DATA VIEWモードで、画面を次のページまでスクロールします。
	▼ ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>•メニューモードで、メニューとサブメニューを行ごとに下にスクロールします。</li> <li>•DATA VIEWモードで、画面データを次のページまでスクロールします。</li> </ul>
	◀ ボタン	MENU / DATA VIEWモードで、画面を前のページまでスクロールします。
7	OK ボタン	MENUリストからの選択(またはアクション)を確認します。
8	DB-15診断コネクタ	ツールを車両のデータリンクに接続しますコネクタ(DLC)。
9	液晶画面	テスト結果を表示します。
10	充電LED	充電状態を表示します。
11	 ボタン	OBD障害コードをすばやく読み取るために使用します。
12	 ボタン	<p>それを押して3秒間持続させ、電源を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•画面オン:一度押すと休止状態モードに入ります。</li> <li>•ツールに電力が供給されていない場合、または自動シャットダウン間隔が経過すると、ツールはシャットダウンします自動的に。</li> <li>•デバイスが充電中で5分以内に動作しない場合は、自動的に入りますバッテリーの電力を節約するための休止状態モード。</li> <li>•画面オフ(休止状態):一度押すとウェイクアップします。それを押して3秒間持続させ、オフにします。</li> </ul>





## 製品パラメータ


スクリーン	3.5インチ
解決	320 * 480ピクセル
入力電圧	9V~18V
動作電流	≤500mA
働く温度	14°F~122°F (-10°C~50°C)
貯蔵温度	-20°C~60°C (-4°F~140°F)

## 初期使用

### 充電


#### 1. ACコンセント経由

充電ケーブルの一方の端をツールの充電ポートに接続し、もう一方の端を電源アダプターに接続します。電源アダプターをACコンセントに差し込んで充電を開始します。

充電が終了すると、充電完了記号が充電記号に置き換わります。電源アダプターをACコンセントから抜き、充電ケーブルをツールから外します。

#### 2. コンピューター経由

充電ケーブルの一方の端をツールの充電ポートに接続し、もう一方の端をコンピューターのUSBポートに接続して充電を開始します。

充電が終了すると、充電完了記号が充電記号に置き換わります。充電ケーブルをツールとコンピューターから外します。

#### 3. OBD診断ポート経由(非推奨)

ツールが車両のDLC(データリンクコネクタ)ポートに正しく接続されていれば、自動的に充電されます。

#### 注意:

OBD診断ポートを介してツールを充電しようとする、車両のバッテリー電力が消費されます。OBD診断操作を除いて、この方法でツールを充電することはお勧めしません。

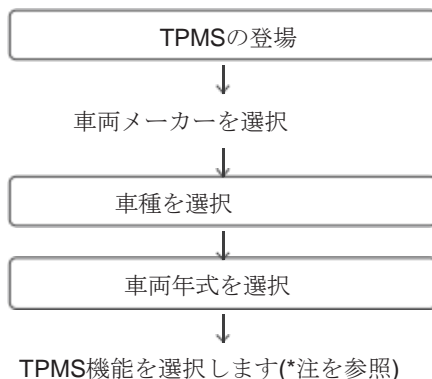


## 機能メニュー




## 機能メニュー

初めて使用する場合は、以下のフローチャートに従って使用を開始してください。



注:間接TPMS車両の場合、再学習機能のみがサポートされます。ダイレクトTPMSを使用する車両の場合、通常、アクティベーション、プログラミング、および再学習が含まれます。利用可能なTPMS機能は、整備する車両によって異なる場合があります。

メルセデス・ベンツを例にとり、TPMS機能の実行方法を紹介します。

1.  メインメニューインターフェースで選択し、[OK]ボタンを押して車両選択インターフェースに入ります。



Vehicle selection (US)
MCLAREN
<b>MERCEDES</b>
MERCURY
MINI
MITSUBISHI
NISSAN
38/58

2. [MERCEDES]を選択し、[OK]ボタンを押して、車両のシャーシ選択インターフェイスに入ります。

MERCEDES
A Class
AMG GT
B Class
C Class
CL Class
CLA Class
1/28

3. [B Class]を選択し、[OK]ボタンを押して、車両年式選択インターフェイスに入ります。

MERCEDES B Class
2014~2018
2019~2020
1/2

4. [2014~2018]を選択し、[OK]ボタンを押してTPMS機能選択インターフェイスに入ります。

MERCEDES B Class 2014~2018
CHECK SENSOR
PROGRAM SENSOR
TPMS SERVICE
1/3



注:間接TPMS車両の場合、学習機能のみがサポートされます。ダイレクトTPMSを使用する車両の場合、通常、アクティベーション、プログラミング、および再学習が含まれます。使用可能なTPMS機能


整備する車両によって異なる場合があります。

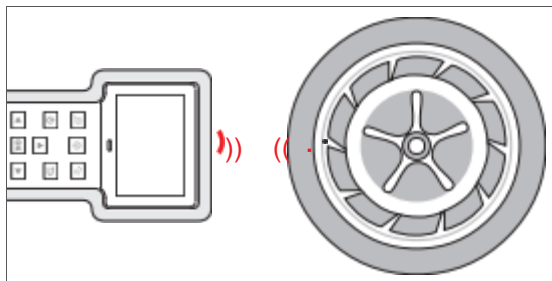
## センサーのアクテ

この機能により、ユーザーはTPMSセンサーをアクティブにして、センサーID、タイヤ空気圧、タイヤ周波数、タイヤ温度、バッテリー状態などのセンサーデータを表示できます。

1. **Activate Sensor**を選択し、[OK]ボタンを押して次のインターフェースに入ります



2. ユニバーサルセンサーの場合は、ツールをバルブステムに沿って置き、センサーの位置をポイントして、ボタンを押します 。



 筆記：

1. 初期の磁石作動センサーの場合は、磁石をステムの上に置き、ツールをバルブステムに沿って置きます。
2. TPMSセンサーがタイヤの空気を抜く(10PSIのオーダー)必要がある場合は、タイヤの空気を抜き、ボタンを押しながらツールをステムに沿って置きます。

センサーが正常にアクティブ化され、デコードされると、ツールはビーブ音を鳴らし、画面にセンサーデータがチェックマーク付きで表示されます ✓。



MERCEDES B Class 2014-2018

ID: 3959089  
P: 248kPa  
T: 39°C  
Vol: OK



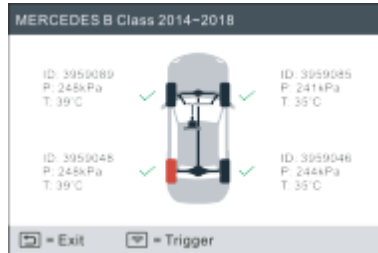
 = Exit

 = Trigger

7

## ⚠ 筆記：

- 1.センサーのトリガーに失敗した場合、✕  
ホイールの位置の横にアイコンが表示されます。2.センサーデータが異常な場合は、赤で表示されます。
- 3.他の車両センサーについても手順2を繰り返します。すべてのセンサーが正常にアクティブになると、次のインターフェイスが表示されます。

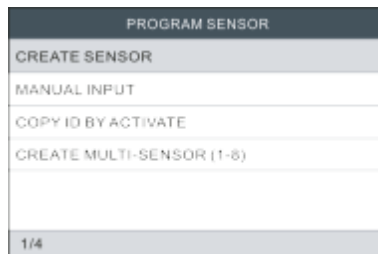


- \*ID:センサーIDを示します。
- \*P:タイヤ空気圧を示します。
- \*T:タイヤの温度を示します。

## プログラムセンサ

この機能により、ユーザーはセンサーデータをTHINKCARセンサーにプログラムし、故障したセンサーをバッテリー寿命の短いセンサーまたは機能していないセンサーと交換できます。

THINKCARセンサーのプログラミングには、自動作成、手動作成、アクティベーションによるIDのコピー、マルチセンサーの作成(1-8)のオプションを使用できます。**[PROGRAM SENSOR]**を選択し、**[OK]**ボタンを押して以下を入力します  
インターフェイス。



### 自動作成

THINKCARセンサーがオリジナルセンサーを取得できない場合に、テスト車両に応じて作成したランダムIDを適用してTHINKCARセンサーをプログラムする機能です  
ツールにプログラムする必要のあるホイールを選択し、**THINKCAR**センサーをツールのTPMSアンテナの近くに配置して、**[センサーの作成]**を選択して

新しいランダム センサー ID を作成します。

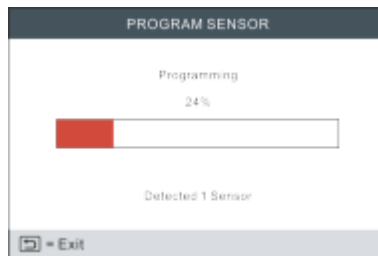




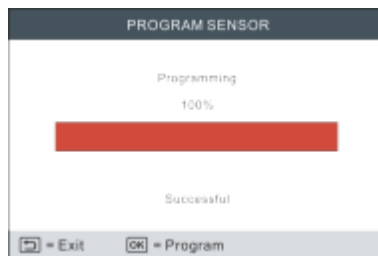
[OK]ボタンを押すと、センサーの検出と、新しく作成したセンサーIDのTHINKCARセンサーへの書き込みが開始されます。



プログラミングプロセスを示すプログレスバーが画面に表示されます。



センサーが正常にプログラムされると、次のインターフェイスが表示されます。





注:自動作成が選択されている場合、必要なすべてのTHINKCARセンサーをプログラミングした後、TPMS再学習操作を実行する必要があります。

## 手動入力

この機能を使用すると、ユーザーはセンサーIDを手動で入力できます。ユーザーは、ランダムIDまたは元のセンサーIDを入力できます(使用可能な場合)。  
[MANUAL INPUT]を選択して、次のインターフェースに入ります。



注:各センサーに同じIDを入力しないでください。

画面上の仮想キーパッドで、任意の6桁のランダムIDを入力します(利用可能な場合)  
[OK]を押します。

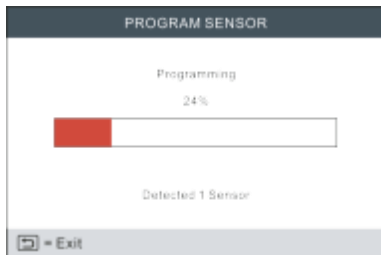


ツールでプログラムする必要があるホイールを選択し、ツールのTPMSアンテナの近くにTHINKCARセンサーを配置します。[OK]ボタンを押すと、THINKCARセンサーへの新しいセンサーIDの書き込みが始まります。

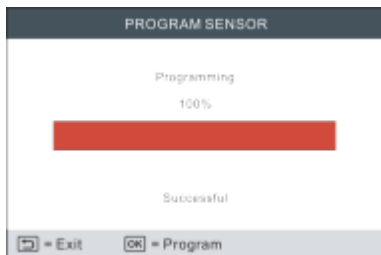




プログラミングプロセスを示すプログレスバーが画面に表示されます。



センサーが正常にプログラムされると、次のインターフェイスが表示されます。



**⚠ 筆記 :**

- 1.ランダムなIDが入力された場合は、プログラミング終了後にTPMS再学習機能を実行してください。元のIDが入力されている場合、再学習機能を実行する必要はありません。
- 2.車両が再学習機能をサポートしていない場合は、THINKCARセンサーをプログラミングする前に、手動入力オプションを選択して元のセンサーIDを手動で入力するか、アクティベーションインターフェイスで元のセンサーをトリガーして情報を取得してください。

### アクティベーションによるIDのコピー


この機能により、ユーザーは取得した元のセンサーデータをTHINK-CARセンサーに書き込むことができます。これは、元のセンサーがトリガーされた後に使用されます。

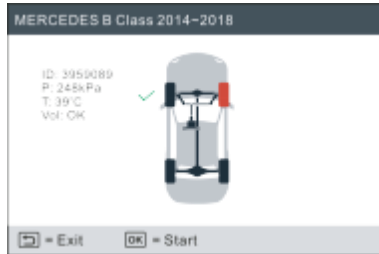
[COPY ID BY ACTIVATE]を選択し、[OK]ボタンを押して入力します。



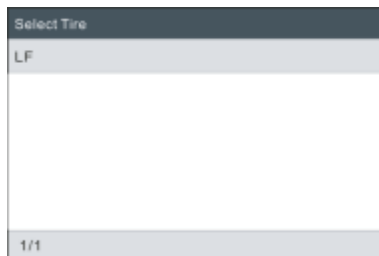




特定のホイール位置を選択し、 ボタンを押して元のセンサーをトリガーします。情報が取得されると、画面に表示されます。



[OK]ボタンを押して続行します。



特定のホイール位置を選択して[OK]ボタンを押すと、センサーIDが作成されます。

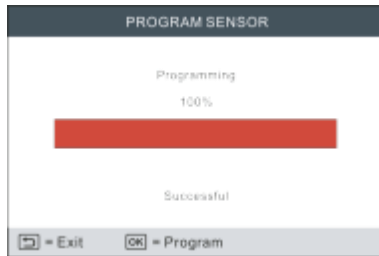


[OK]ボタンを押すと、THINKCARセンサーへの新しいセンサーIDの書き込みが始まります。





センサーが正常にプログラムされると、次のインターフェイスが表示されます。



☞ ボタンを押すと、前のインターフェイスに戻ります。[OK]ボタンを押して、他のセンサーのプログラミングを続けます。

### マルチセンサーのプログラム

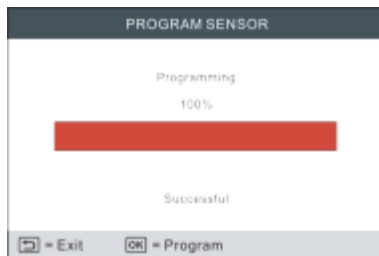
この機能により、ユーザーは複数のTHINKCARセンサーを同時にプログラムできません。最大8つのセンサーを同時にプログラムできます。

複数のセンサーを積み重ね、[マルチセンサーの作成(1-8)]を選択してプログラムを開始します。



明。

センサーが正常にプログラムされると、次のインターフェイスが表示されます。



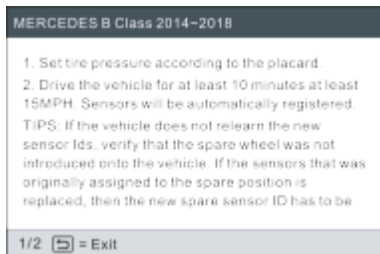
☞ ボタンを押すと、前のインターフェイスに戻ります。[OK]ボタンを押して、他のセンサーのプログラミングを続けます。



## センサーの再学習

この機能を使用すると、TPMSセンサーの再学習手順の詳細を確認および表示できます。

再学習操作は、新しくプログラムされたセンサーIDが車両のECUに保存されている元のセンサーIDと異なる場合のみ適用されます。再学習は、新しくプログラムされたセンサーIDを車両のECUに書き込み、センサーを認識するために使用されます。



## 保証条件

- ・この保証は、通常の手順でTHINKCAR製品を購入したユーザーおよびディスプレイコンピューターにのみ適用されます。
- ・納品日から1年以内に、THINKCARは、材料または製造上の欠陥によって引き起こされた損傷について、電子製品を保証します。
- ・乱用、不正な変更、設計されていない目的での使用、説明書で指定されていない方法での操作などによる機器またはコンポーネントの損傷は、この保証の対象外です。
- ・この機器の欠陥によって引き起こされたダッシュボードの損傷に対する補償は、修理または交換に限定されます。THINKCARは、間接的および偶発的な損失を負いません。
- ・THINKCARは、機器の損傷の性質を次のように判断します。  
所定の検査方法。THINKCARの代理人、従業員、またはビジネス代表者は、THINKCAR製品に関連するいかなる保証、通知、または約束も行う権限がありません。

電話番号:1-909-757-1959

カスタマーサービスメール:support@thinkcar.com

公式サイト: www.thinkcar.com

製品チュートリアル、ビデオ、Q&A、カバレッジリストは、Thinkcarの公式ウェブサイトです。

フォローする



@thinkcar.公式




@ObdThinkcar





## Thinkcarテック株式会社

フォローする

 @thinkcar.公式  
@ObdThinkcar

